

令和8年3月18日
国立大学法人筑波大学

筑波大学附属視覚特別支援学校創立 150 周年記念式典の開催について

筑波大学附属視覚特別支援学校（所在地：東京都文京区）は、令和8年11月1日（日）に創立150周年記念式典を開催いたします。

本式典には、幼児児童生徒・保護者代表・教職員等約300名に加え、文部科学省をはじめとする来賓約20名をお迎えし、総勢約320名の参加を予定しています。

■ 本校の沿革

明治8年（1875年）、古川正雄・津田仙ら6名により盲者・聾者の教育機関設立を目的として「楽善会」が組織されました。

翌明治9年12月22日に、明治天皇より下賜金を賜り、本校の前身である「訓盲院」が設立されました。本校は、この日を起源としております。以来150年にわたり、我が国の視覚障害教育の発展に寄与してまいりました。

■ 創立150周年記念式典 概要（予定）

日 時: 令和8年11月1日（日）

会 場: 筑波大学附属視覚特別支援学校 体育館（東京都文京区目白台3-27-6）

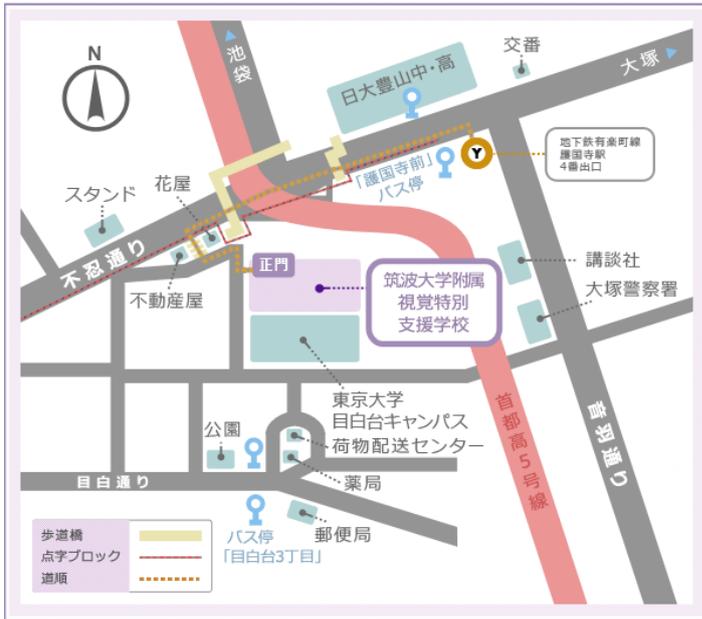
参加予定: 約320名

（幼児児童生徒・保護者代表・教職員 約300名、来賓 約20名）

■ 主な内容（予定） ※詳細は後日改めてご案内いたします

- 記念式典
- 幼児児童生徒による発表
- 卒業生によるシンポジウム ほか

本式典では、本校150年の歩みを振り返るとともに、幼児児童生徒の発表などを通して、視覚障害教育の意義と本校の教育活動を広く発信する機会としたいと考えております。



【本件のお問合せ先】

筑波大学附属視覚特別支援学校